

科目コード：240005-0

担当教員	牧野 智恵、松本 智里、今方 裕子、山瀬 勝巳、村上 真由美、松本 友梨子、高野 智早、時山 麻美、佐伯 千尋、上埜 千春、樋口 麻衣子
------	--

開講年次	1年次通年	単位数	1	授業形態	演習
必修・選択	選択	時間数	30		

学習目的・目標	学習目的： 複雑な問題を抱えるがん患者および家族へのがん看護実践について、さまざまな施設における看護実践の事例検討を通して、エビデンスに基づいたアセスメント能力と問題解決能力を習得する。 学習目標： 1) テレビカンファレンスへの参加を通して、各施設における困難な事例を分析する過程で必要な病状に関する病態生理学的把握と治療への適切な支援方法について探求できる。 2) がん看護実践の内容と相談者の相談内容を理解できる。 3) さまざまな施設におけるがん看護専門看護師の介入内容から、事例の問題解決に必要な情報の抽出の視点、問題解決にむけた焦点のあて方について理解できる。 4) 事例検討を通して、その事例における看護上の問題の分析を行い、解決に向けた介入・調整方法を検討できる。
---------	--

回	内容	授業方法	担当
---	----	------	----

13	学生自身が体験した複雑な問題をもつがん患者・家族についての事例を発表し、がん看護専門看護師との討議を通して問題解決に向けた介入方法について検討する	演習・レポート	牧野
14.15	1.がん薬物療法の看護に関する研究論文(原著論文)を医学中央雑誌・Pubmed等で検索・クリティークし、その内容を発表、討議する 2.がん患者のいづく治療中の苦痛症状および苦悩の包括的理解の現状とその課題。 がん治療を継続するために必要ながん専門看護師としての介入について検証する	演習	牧野

参考図書等	随時紹介する
-------	--------

関連科目	がん看護学演習Ⅰ、Ⅱ
------	------------

教員から学生へのメッセージ	この演習科目は北陸3県で活躍するCNSとテレビ会議システムをとおして事例を検討するものです。 この演習への参加によって、多様な施設における困難事例について幅広く情報を共有することが可能となります。また、事例を検討する過程でがん看護専門看護師の意見や考えをリアルタイムに学ぶ機会となります。積極的な意見交換を期待します。
---------------	---